



Power of Us プログラム チェックリスト

お申し込みの際し、必要な作業や情報・書類の準備に本チェックリストをご活用ください。

1. 申請者について

本プログラムへの申請は、Salesforce の導入を判断し、組織を代表して契約を締結する権限を有する方が行ってください。

2. システム管理者について

自団体の Salesforce システム管理者となる職員の方を指名してください。

3. 申請に必要な書類

① 公的書類

本プログラムの申請条件を満たす法人格を有し、その活動目的が明記されていることを証明する書類として、発行日から3か月以内の「履歴事項全部証明書」または「現在事項全部証明書」を PDF ファイルでご提出ください。

PDF ファイル名は「REGISTRATION_団体の英語正式名称」としてください。

(例：REGISTRATION_Salesforce)

② 倫理証明書

学校教育法第一条に掲げられている教育施設または一条校を管轄する教育委員会もしくは独立行政法人国立高等専門学校機構の場合、無償10ライセンスの受領が、組織の贈答および寄付に関する倫理規定または調達規定に基づいて許可されていることに同意する署名入り倫理証明書の提出が必要です。無償10ライセンスの受領は学校法人または同一の教育委員会につき1回限り（10ライセンスまで）であることに、組織を代表して同意できる方が署名してください。（大学の場合は、理事長・学長など）

倫理証明書はこちらの[サンプルレター](#)をダウンロードし、ご使用ください。

※今回の申請で、無償10ライセンスの受領がなく製品の割引のみをご希望の場合でも、倫理証明書の提出が必要です。

4. 申請に必要な情報

- ① 団体の正式名称（日本語）
- ② 団体の正式名称（英語）
- ③ 団体の郵便番号・住所（日本語）
- ④ 申請者の氏名・メールアドレス・電話番号

※ 団体のメールドメインを使用したメールアドレスをご提示ください。以下のメールアドレスでのお申込みはお受けできませんので、あらかじめご了承ください。

- Gmail等のフリーメールアドレス
- info@等の共有メールアドレス（複数の方が共同で利用されているもの）

- ⑤ 団体の Salesforce システム管理者の氏名・メールアドレス・電話番号

- ⑥ 本番環境にするトライアル組織の組織 ID

※トライアル期間の有効期限まで10日以上あること

- ⑦ 本番環境にするトライアル組織の製品名 (Agentforce Sales & Agentforce Service / Agentforce Nonprofit)

- ⑧ Salesforce の主なご利用目的

※ 組織 ID は、ご使用の Salesforce.com アカウントにログインし、設定 (画面右上の歯車アイコン) → 会社の設定 (画面左側のメニューペイン) → 組織情報 で表示されたページの [salesforce 組織 ID] の項目で確認していただけます。

5. 30日間無料トライアルの取得

Agentforce Sales (Sales Cloud) Enterprise Edition または Agentforce Nonprofit (Nonprofit Cloud) Enterprise Edition のトライアルを取得してください。

申請が承認された場合、そのトライアル組織が本番環境となり、10ライセンスを無償でご利用いただけます。

6. 多要素認証 (MFA/Multi Factor Authentication) について

2022年2月1日以降、Salesforce の「[Trust and Compliance Documentation \(信頼とコンプライアンスに関するドキュメント\)](#) (英語)」に基づき、すべての Salesforce 製品の利用者は、MFA（多要素認証）を使用することが契約上義務付けられています。

上記 5. で取得したトライアル環境にて、本要件を満たすよう設定してください。

MFA の詳細については、以下をご参照ください：

[MFA \(多要素認証\) の概要](#)

[Salesforce 多要素認証に関する FAQ](#)